

【奨励賞】

「北方領土について」

根室市立歯舞学園

8年 伊勢 美里

私は、島民四世です。私はあまり自身を持って言えません。「北方領土に一番近い所に住んでいるのに」とずっと思っていました。初めて自身を持って言えるようになったのは校内弁論大会です。中学一年生の時のクラス弁論で北方領土の部に選ばれて、校内弁論大会で読んだのが自信を持って言えたきっかけです。

私の祖父は国後島出身です。祖父が二歳の時にロシアの不法侵入により根室へ逃げてきました。祖父はまだ幼かったので怖い経験をしたと思います。

私の家は漁師です。毎年6月になると棹前昆布が始まります。その昆布は現在のロシアの領土でとる昆布なのでロシア側に入漁料をみんな支払っています。今、北方領土が返ってきたら漁場が広くなり、昆布やサケなどの魚がすごい取れると思います。そのためにも北方領土問題の解決を早くすべきだと私は思います。

北方領土を不法占拠されて75年です。ロシアのプーチン大統領の会談では二島だけ返すと言っているにもかかわらず、まだ返してくれないのはおかしいと思います。元島民の人は「自分が住んでいた所に戻りたい」と言う人はたくさんいます。北方領土に限らず昔、日本のものだった領土が他の国の領土になっているところもたくさんあります。私たち国民一人一人がその領土問題に目を向けて意識していくことが大切です。

私も次の世代へと伝えていきたいなと思います。